

2009 年新年号

会報 大阪 OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

OMSA

▼ TABLE OF CONTENTS ▼

年頭のご挨拶 2

新年賀詞交歓会のご案内 3

I S O 旬報 4

事業経過報告 10



社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

年頭のご挨拶



会長 吉田多佳志

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、つつがなく「丑年」のお正月を過ごされたことと存じます。旧年中は当工業会の諸事業推進にあたりましては、会員各位をはじめ関係行政機関ならびに関連業界団体等多くの皆様のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2009年のわが国は、オイルショック以来の未曾有の景気後退期を迎えるとしています。米国のサブプライム・ローン問題に端を発し、昨年後半からの世界恐慌に匹敵する金融危機に追い打ちをかけるような諸物価の高騰に加え、自動車産業を中心とする基幹産業の大幅減産に伴う雇用問題の深刻化等、つい最近までの好景気感から一転し、暗闇状態に入りつつあります。

また、政界においては、国会の「ねじれ現象」を見るように、重要案件の先送り、麻生内閣の支持率の低下による国民の政府に対する不安感が増幅する一方、遅々として進まない景気対策に私たち中小企業はどこに活路を見いだせばよいのか不安でなりません。

しかしながら、私たちは立ち止まることはできません。幸いと云ったら語弊があるかも知れませんが、世界同時不況の現状を踏まえ、業種・業態を超えて一丸となって、この難局に立ち向かって行けば、自ずと活路が開けてくるものと信じます。自分達が今までに蓄積してきた技能・技術、それに携わってきた社員の皆さんを信じて、「丑」のごとくしっかりと足を地につけて、地道にねばり強く前向きに頑張りましょう。

私たち、金属プレス業はあらゆる分野の製品を構成する部品を提供するサポーティング・インダストリーです。自信と誇りを持って突き進んで行けば、意外と速くこの難局を乗り越えられるかも知れません。

当工業会は今後も、技能検定をはじめ、技能・技術の伝承、リスクアセスメントの普及・定着の支援によるプレス災害防止等、会員の皆さまのお役に立てるよう事業展開を図ってまいりますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

会員各位
顧問・相談役各位
青年部各位

(社) 大阪金属プレス工業会
会長 吉田多佳志
交流委員長 夏山享啓
経営委員長 南雅佐夫

平成21年 新年賀詞交歓会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、新年を迎える会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、恒例の新年賀詞交歓会を下記のとおり開催させていただきます。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

尚、賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます

敬具

記

【日 時】 平成21年1月21日(水)
第1部 新春特別講演会 15:30~16:50
講師:青井宏安氏(㈱アイピック社長)
第2部 新年賀詞交歓会 17:30~19:30

【会 場】 第1部 たかつガーデン 3階「カトレア」
第2部 " 8階「たかつ東中」

【参 加 費】 10,000円/人(講演会は無料)

お振込先
三菱東京 UFJ 銀行上本町支店
(普)487575
(社)大阪金属プレス工業会
会長 吉田 隆司

講演内容

日本の製造業の強みは加工や生産技術に集積された「匠」の技である。この基本を守り切れば、「日本発世界一」の時代がつづく。「ものづくり」とは、「物を造ること」ではなく、設計者の思いを「ものに作り込む」ことである。ここでの「もの」とは、設計情報を転写する媒体であり、有形(製造業)でも無形(サービス業)でも良い。中小企業が厳しい競争の中で存在感を保っていくためには、広い意味での「流れづくり」と匠の技が必要になってくる。ものづくりを矮小化してはいけない。競争力の源泉をどうももっていくかということと、成長のための基盤づくりについて事例をまじえて紹介します。乞うご期待!

(社) 大阪金属プレス工業会宛
FAX 06-6762-7633
mail omsa1@omsa.or.jp

平成21年 新年賀詞交歓会参加申込書

御会社名	講演会	懇親会
御役職名	御 氏 名	

○印をお願いします。





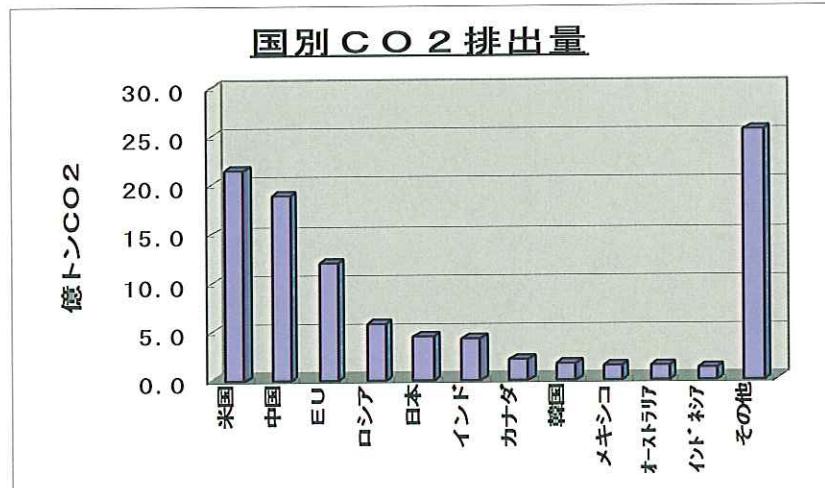
ISO推進委員会

まえがき

京都議定書によるCO₂削減期間2008年～2012年がスタートし、早1年近くになりました。日本は1990年比で6%のCO₂削減を義務づけられています。国を挙げて取り組んでいますが、まだ先が見えない状況です。我々の力は微力ではありますが、「ちりも積もれば山」となります。中小企業である我々や個人の家庭で出来るCO₂削減案、一体どのような事が出来るのかを考えてみましょう。

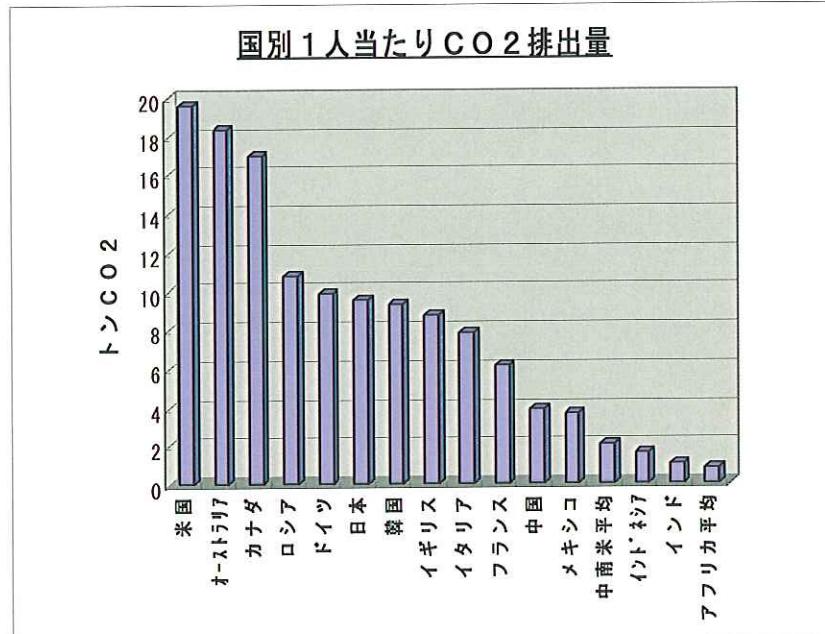
1. 世界全体のCO₂排出量=約271億トン（2005年実績）

米国	21.4
中国	18.8
EU	12.0
ロシア	5.7
日本	4.5
インド	4.2
カナダ	2.0
韓国	1.7
メキシコ	1.4
オーストラリア	1.4
インドネシア	1.3
その他	25.6



2. 国別1人当たりの排出量

米国	19.6
オーストラリア	18.4
カナダ	17.0
ロシア	10.8
ドイツ	9.9
日本	9.5
韓国	9.3
イギリス	8.8
イタリア	7.8
フランス	6.2
中国	3.9
メキシコ	3.7
中南米平均	2.1
インドネシア	1.6
インド	1.1
アフリカ平均	0.9





地球人の義務、国民の義務、子供たちにこの地球環境を
残すために、われわれに今出来ることをやつていこ

う！！

あらゆる所で「もったいない」精神を活かそう

1. 中小企業で出来るCO₂排出削減

(1) 生産効率を上げる。

【効果】

- ① 稼働時間が減少し、製造原価が下がる。
- ② エネルギー消費量が減少する。

- ①作業の合理化（改善）を行う事により、時間当たりの生産量を上げる。
- ②残業時間を減らす事が出来る。
- ③2S（整理・整頓）を行う。

(2) 不良率を下げる。

【効果】

- ① 生産効率が上がる。
- ② 廃棄物が減少する。
- ③ 歩留まりが良くなり、素材購入量が減る。
- ④ 社外流出クレームが減少する。

- ①品質を管理することにより、不良品の発生を防止する。
- ②5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）を行う。
- ③正しいルールを作り、しっかり守る。

(2) 工場内の廃熱を利用する。

【効果】

暖房費などが節約できる。（暖房などに使用するCO₂が削減できる）

- ①塗装乾燥炉の廃熱を他の作業場、部屋の暖房・風呂の湯沸しなどに使う。
- ②鋳物溶解炉の廃熱を他の作業場、部屋の暖房・風呂の湯沸しなどに使う。

(3) 熱源を断熱材で巻く。

【効果】

作業環境にも良く、省エネルギーにもなる。

- ①夏場は、クーラー効果を助ける（脱着可能なものにしておく）
- ②冬場は、断熱材を外し暖房の助けにする。



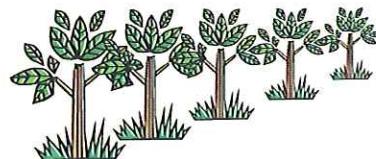
(4) 工場内スペースに緑を植える、

【効果】

- A. 植物がCO₂を吸収してくれる。
- B. 階下の工場の室温を冷やす効果もある。

①工場の空きスペースに芝生・植樹するなど、極力植物を増やす。

②屋上を芝生にする、植物を植える又は人口芝にする。

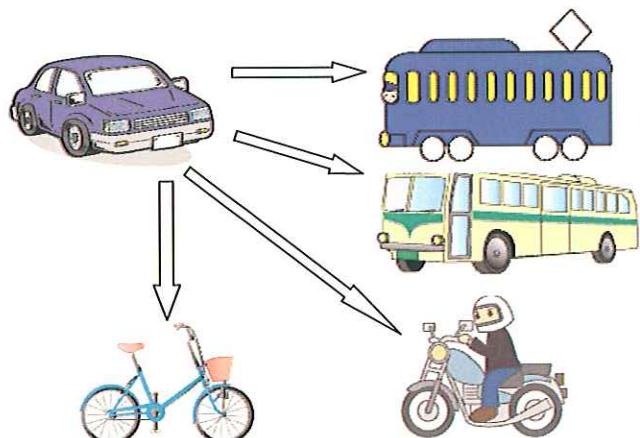


(5) マイカー通勤を廃止する。

- ①公共交通機関を利用する。
- ②バイク通勤に変更する。
- ③自転車通勤に変更する。

【効果】

- A. ガソリン消費量が減る。
- B. 空気がキレイになる。
- C. 駐車場のスペースが他の事に利用出来る。(緑地化など)



(4) 省エネルギー

①不要な電気を消す。

→ 人のいない所の電気は、必ず消す。

②冷暖房の温度設定をする。

→ 規制することにより、省エネルギーとなる。

③直射日光の当たる窓には、ブラインドを着ける。

→ 自然エネルギーを利用することにより、冷暖房のエネルギー効率を高める。

④工場の最大電力削減
(デマンド管理)

→ デマンドコントローラーを設置し、最大電力(ピーク電力)をカットする。

⑤エアーフィルタ漏れを無くす。

→ エアーフィルタ漏れを金額表示し、従業員への意識づけを行う。

⑥空調室外機に日よけをつけ
て直射日光が当たらないよ
うにする。

→ 省エネルギーになる。

⑦事務所の蛍光灯をインバ
ータ蛍光灯に変更する。

→ 消費電力が、約30%減になる。

⑧工場の水銀灯を高効率メタ
ルハライドランプに変更す
る。

→ 明るさは変わらず、消費電力は半分になる。



2. 個人の家庭で出来るCO₂排出削減

(1) 省エネルギー(電気)

- ①不要な電気を消す。 → 人のいない所の電気は、必ず消す。
- ②パソコン、テレビ、ビデオ → 夜寝るときにコンセントを切る。
などの待機電力を消す。
- ③テレビは、1台で家族皆が → 家族が別のテレビをバラバラで
見るようになる。見るのを極力しないようにする。



【効果】

電気の節約になる。

(2) 省エネルギー(水)

- ①水道水の流しっぱなしを → イ. 洗顔は、水を洗面器に受けて洗う
無くす。 ロ. 歯磨きは、水をコップに受けて口を
すすぐ。
- ②風呂は、集中して入る。 → 時間を空けると、追い炊きが
必要になる。
- ③樋の水(雨水)をバケツ → 庭木の散水に使用する。
などで受けて、貯めておく。



【効果】

水の節約になる。

(3) 廃棄物の削減

- ①ムダな食材は買わない。 → 冷蔵庫は、常にガラガラの状態が望ましい
必要な時に、必要な物だけを買う。
- ②使える食材は、全て使う。 → (例)ダイコン・ニンジンの葉っぱなど。
- ③廃棄する生ゴミは、庭があれ → 堆肥になる。
ば穴を掘って埋める。
- ④エコバッグを使う。 → スーパーへの買い物は、エコバッグを持って行
き、ビニール袋はもらわない。



【効果】

- A. 廃棄物が減少する。
- B. 経済的効果がある。



「化学物質排出把握管理促進法」（化管法・P R T R法）
対象物質の見直し

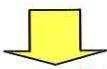
指定物質の追加 及び 発がん性物質の見直し

環境省が2008年7月11日に中央環境審議会から答申があつた、と発表。

(1) 指定物質を追加

現 行: 435物質

第1種指定化学物質: 354物質(報告対象物質) 第2種指定化学物質: 81物質



見直し案: 563物質

第1種指定化学物質: 463物質(報告対象物質) 第2種指定化学物質: 100物質

(2) 発がん性評価等からの対象物質の見直しも実施された。

特定第1種指定化学物質(報告対象物質)

現 行: 12物質(発がん性クラス1)



見直し案: 15物質(発がん性クラス1、生殖毒性クラス1、変異原性 GHSクラス1A)

(削除: メトキサレン

追加: 1, 3-ブタジエン、ホルムアルデヒド、2-ブロモプロパン、鉛化合物)

* GHS(Globally Harmonized System): 世界的に統一されたルールに従って化学品を危険有害性の種類と程度により分類。国際的に導入を進めているシステム。

今後、経済産業省と共に、政令改正及び周知などの措置を講じていく予定。

見直し後の化管法対象物質変容

現行 435物質

第一種指定化学物質

(354物質)

特定第一種指定化学物質
(12物質)

石綿、エチレンオキシド、カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物、塩化ビニル、ダイオキシン類、ニッケル化合物、砒素及びその無機化合物、ベリリウム及びその化合物、ベンジリジン=トリクロリド、ベンゼン、1, 3-ブタジエン、ホルムアルデヒド、鉛化合物、2-ブロモプロパン

第二種指定化学物質
(81物質)

見直し案 653物質

第一種指定化学物質

(463物質)

特定第一種指定化学物質
(15物質)

石綿、エチレンオキシド、カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物、塩化ビニル、ダイオキシン類、ニッケル化合物、砒素及びその無機化合物、ベリリウム及びその化合物、ベンジリジン=トリクロリド、ベンゼン、1, 3-ブタジエン、ホルムアルデヒド、鉛化合物、2-ブロモプロパン

第二種指定化学物質
(100物質)

環境アラカルト

温室効果ガスには、どんなものがあるの？

地球温暖化を防ぐために温室効果ガスの削減をすべく活動しているが、

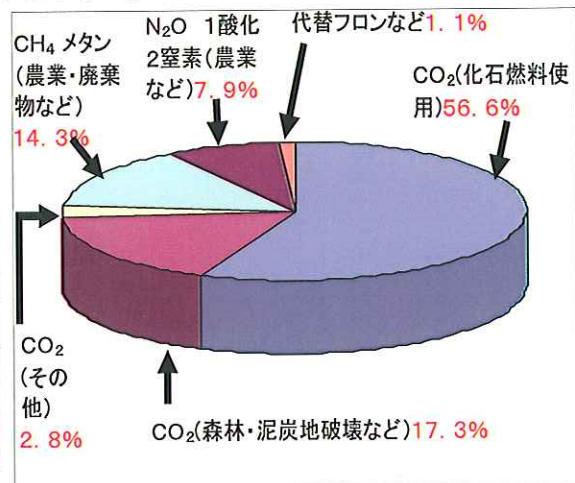
CO₂（二酸化炭素）の削減とどう違うの？

- (1) CO₂は温室効果ガスの1つで、別なものではない。
- (2) 温室効果ガスは、CO₂が77%近く占めている。

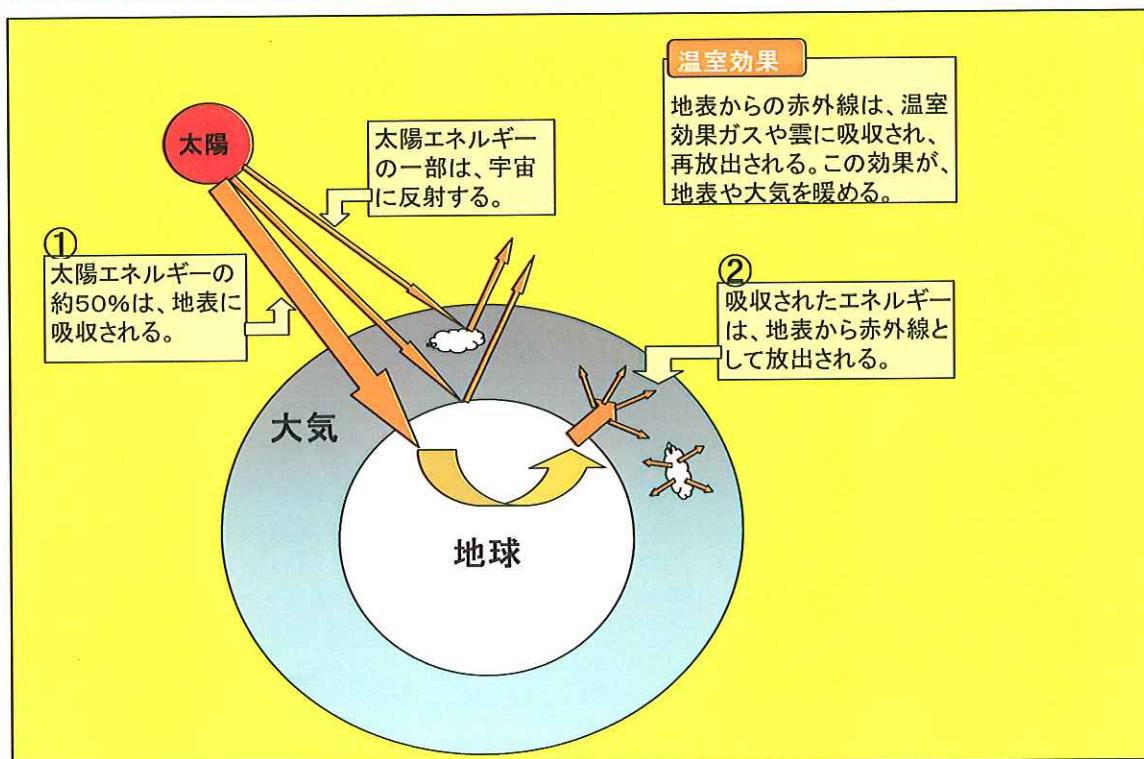
温室効果ガスの分類

CO ₂ （化石燃料使用）	56.60%
CO ₂ （森林・泥炭地破壊など）	17.30%
CO ₂ （その他）	2.80%
CH ₄ メタン（農業・廃棄物など）	14.30%
N ₂ O 一酸化二窒素（農業など）	7.90%
代替フロンなど	1.10%

(04年 IPCC報告書)



地球温暖化のしくみはどうなっているの？



事業経過報告

11/11~12/16

モデル企業見学会 (安全・技術委員会、ISO推進委員会)

- ◆ 開催日 11月11日(火)
- ◆ 見学先 (1)古野電気(株)三木工場 兵庫県三木市別所巴 18
(2)プレテック(株)三木工場 兵庫県三木市別所巴 1
- ◆ 参加者 23名



第24回プレス安全・環境大会 ((社)日本金属プレス工業協会)

- ◆ 開催日 11月13日(木)・14日(金)
- ◆ 開催地 福島県郡山市
- ◆ 見学先 (1)アスター工業(株)
(2)富士工業(株)
- ◆ 参加者 80名(大阪4名)



第10回健康ハイキング (経営委員会)

- ◆ 開催日 11月23日(日)
- ◆ 場 所 吉野山
- ◆ 行 程 近鉄吉野→(バス)→山上→西行庵→
金峰山寺→水分神社→花矢倉(展望台)
→竹林院(昼食&庭園散策)→吉水神社
→吉野朝宮跡→藏王堂(世界遺産)→
銅の鳥居→黒門→解散(買物)→山上駅
- ◆ 参加者 34名



第102回 理事会（総務委員会）

- ◆ 開催日 12月16日(火)
- ◆ 場 所 たかつガーデン 2階「ガーベラ」
- ◆ 出席者 23名
- ◆ 議 事 ①平成20年度事業経過報告について
②会員異動状況について
③平成20年度収支決算見込みについて
④平成20年度第4四半期事業計画について
⑤Web ラーニングの開設について



忘年会（総務委員会）

- ◆ 開催日 12月16日(火)
- ◆ 場 所 シェラトン都ホテル
- ◆ 参加者 39名



青年部活動報告

3地区合同交流会(愛知・京都・大阪)

- ◆ 開催日 11月14日(金)・15日(土)
- ◆ 場 所 14日 見学会：東海鉄工㈱
交流会：木曽路
15日 ゴルフ：緑が丘 C.C
- ◆ 参加者 10名



現役・OB 合同忘年会

- ◆ 開催日 12月10日(水)
- ◆ 場 所 かに道楽・「網元」別館
- ◆ 参加者 23名



品質改善セミナーⅢのご案内

研修テーマ 品質の基礎のきそ

ISO 推進委員会では、一昨年の「全員で取り組む生産現場のポカミス・ゼロ化活動」、昨年の「コミュニケーション力を強化して品質不良を減らす」に引き続き、下記のとおり「品質改善セミナーⅢ」を企画いたしました。毎回定員を遙かに超えるご参加をいただき、「継続的な開催を」というご意見をいただきました。今回も身近な問題を取り上げて見ました。多数のご参加をお待ちしております。

研修のねらい

新聞の社会面の最下段に掲載される、「お詫びとお知らせ」の件数が近年になって増えてきております。多い日には3~4件もめずらしくなってきました。

また、国産車のリコール件数・対象台数ともに激増してきております。20年前には年間20件前後だったものが、昨年は229件。平成16年にはリコール対象台数がないと700万台を超えていました。

ものづくりの現場における品質問題は大変な危険水域に立たされているのではないかでしょうか。この原因はいくつか考えられますが、我々の考える重点対策は2つです。

製造現場の変化に大きく遅れてしまったQCのあり方を切り替えること、途絶えがちだった管理監督者やスタッフのQC教育を強化することです。

今回は、品質の基礎のきそでもある、「標準化」「技能伝承」「後加工はお客様」「異常と変化(ヒヤリハット)」について勉強しなおしていただきます。

記

1. 開催日時 平成21年1月29日(木) 13:00~17:00
2. 会場 たかつガーデン 3階「ローズ」 大阪市天王寺区東高津町7-11 (TEL 06-6768-3911)
3. 講師 (社)中部産業連盟 中山賢一氏、富澤祐子氏
4. 参加費 5,000円／人 (テキスト代込み) 当日、頂戴いたします。
5. 定員 30名
6. 申込方法 添付の参加申込用紙にて、FAXでお申込み下さい。(FAX:06-6762-7633)
7. 締切日 1月16日(金)

カリキュラム

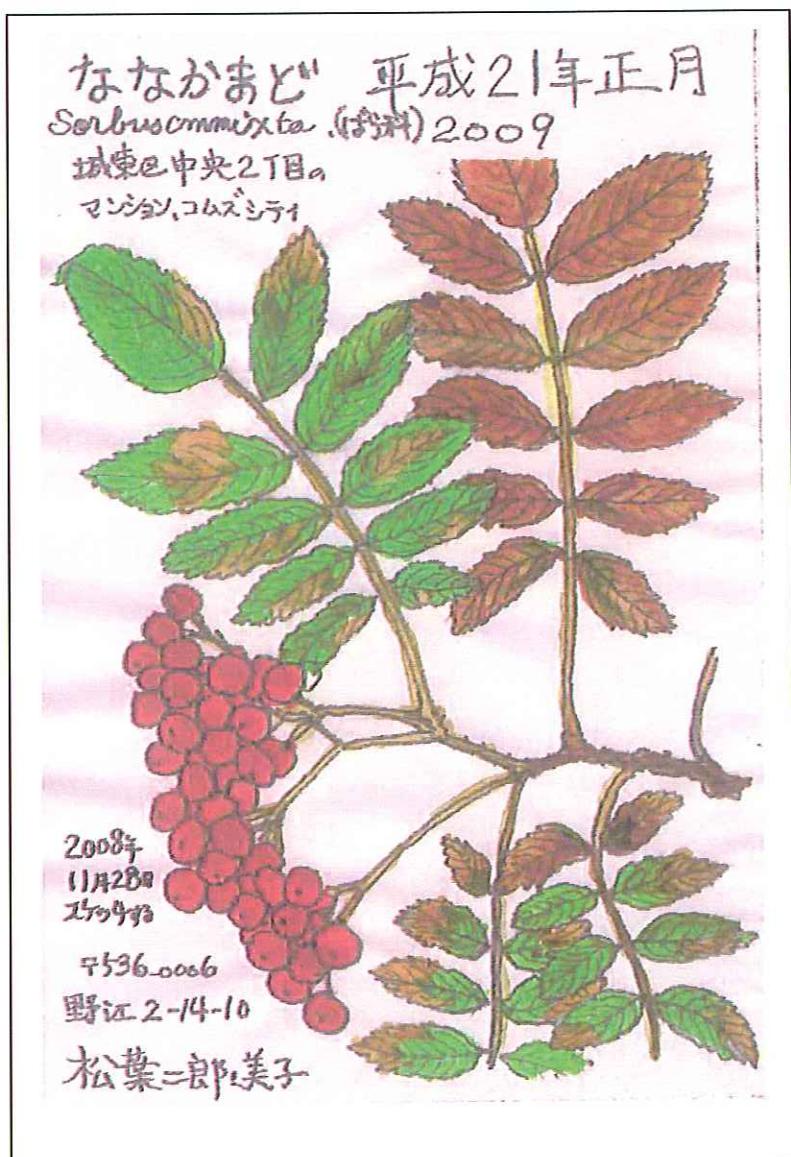
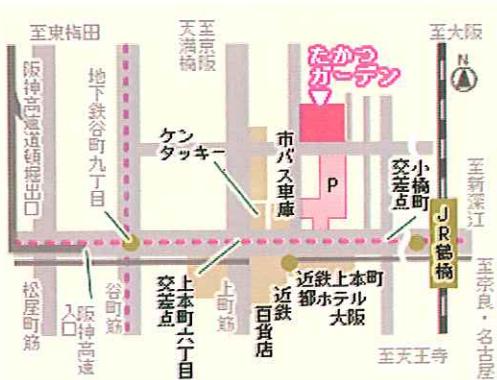
時 間	主 な 内 容
13:00~14:00	(1) クオリティ・ファースト (2) 「超」品質企業 (3) 演習「自社のQC診断 “あなたの会社のレベルは”
14:00~15:00	(4) 作業の安定化 6ステップ (5) 技能伝承のコツ(ビデオ鑑賞)
15:00~15:30	(6) 後工程はお客様思考 “品質自己責任の仕掛けづくり”
15:30~17:00	(7) 現場の異常と変化 演習「変化点分析または異常事例のリストアップ」 ※ いま生産している製品(1品種)のQC工程表をご持参下さい。

(社) 大阪金属プレス工業会 宛
FAX 06-6762-7633
MAIL omsa1@omsa.or.jp

品質改善セミナーⅢ 参加申込書

御 社 名			
ご担当者名	TEL		FAX
ご 参 加 者 氏 名	お 役 職 名		

※ いま生産している製品(1品種)
のQC工程表をご持参下さい。





社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

mail:omsa1@omsa.or.jp